

Ａｐｅフロントディスクブレーキハブキット　取扱説明書

商品番号：０６－０８－０１３０
適応車種およびフレーム号機
Ａｐｅ　　：ＡＣ１６－１０００００１～
Ａｐｅ１００：ＨＣ０７－１０００００１～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム号機の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんので御注意下さい。
◎当製品の取り付けには、フロントフォーク、フロントホイール及びタイヤ脱着等の作業が必要になります。それらの作業を行う事が可能な環境の上で、上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
◎当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の当社製品、ホンダ純正部品が必要です。また、ＳＴＤのスロットルは使用出来なくなりますので、ハイスロットルを使用することを前提としております。
・当社製フロントブレーキキャリパーＡＳＳＹ．（０６－０８－１１５）
・当社製フロントブレーキマスターシリンダーＡＳＳＹ．（０６－０８－１１６）
・当社製フロントブレーキホースキット（０６－０８－０１３１または０６－０８－０１３２）
・ＮＳＲ５０／８０用純正スピードメーターギヤボックス（要加工）（４４８００－ＧＴ４－００３）
・ＮＳＲ５０／８０用純正スピードメーターケーブルＣＯＭＰ．　（４４８３０－ＧＴ４－６９０）
・ＮＳＲ５０／８０用純正オーバルスクリュー５×１６（スピードメーターケーブル取り付けに使用）（９３７００－０５０１６－０Ｇ）
・当社製φ２２０フロントブレーキディスク（０６－０１－１２１）またはＮＳＲ５０／８０用純正フロントブレーキディスク
※純正部品につきましては、上記車種のホンダ純正パーツリストを参照して下さい。
※ＮＳＲ５０（ＡＣ１０－１５００００１以降）、ＮＳＲ８０（ＨＣ０６－１４００００１以降）用純正フロントブレーキキャリパーＡＳＳＹ．（ブレーキパッドが写真の形状の物）はキャリパーボディーがフロントホイール、エアバルブと干渉する恐れが有るため、使用しないで下さい。




～スロットルに付いて～

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、ＳＴＤ．スロットルハウジング（ブレーキレバー一体式）を取り外す必要があります。
スロットルは、次の方法で対処して下さい。

ｏ当社キャブレターキット装着車の場合

当社ハイスロットルキットを使用するか、下記ホンダ純正部品をご使用下さい。

部品名	部品番号	個数
スロットルハウジング	５３１６８－１６６－０００	１
スロットルハウジング	５３１６７－ＧＥ４－０００	１
パンスクリュー　５×２２	９３５００－０５０２２－０Ｇ	２

ｏＳＴＤ．キャブレター車の場合

ハイスロットルの使用は出来ません。下記ホンダ純正部品をご使用下さい。

部品名	部品番号	個数
スロットルハウジング	５３１６８－１６６－０００	１
スロットルハウジング	５３１６７－ＧＥ４－０００	１
パンスクリュー　５×２２	９３５００－０５０２２－０Ｇ	２

⚠ 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。
（部品破損等の原因により、転倒事故につながる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～特　長～

Ａｐｅのノーマルフロントフォーク、ホイールを使用してフロントブレーキを油圧ディスク化するキットです。２ポッドキャリパーとφ２２０ブレーキディスクによる強力なストッピングパワーが得られます。

～商　品　内　容～



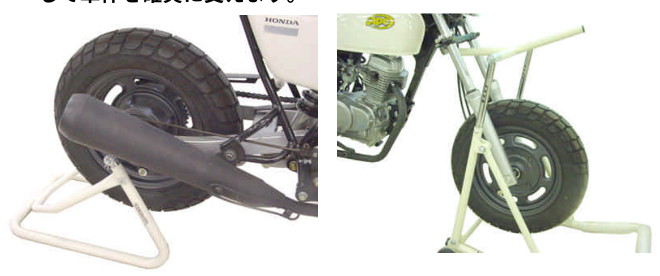
番号	商品内容	数量
1	フロントホイールハブＣＯＭＰ.	1
2	フロントキャリパーブラケットＣＯＭＰ.	1
3	ディスクボルト	3
4	フロントケーブルガイド	1
5	フランジボルト　６×２５	1
6	フランジソケットキャップスクリュー　８×１６	2
7	フランジソケットキャップスクリュー　８×２０	4
8	フランジUナット　６mm	1
9	プレーンワッシャ　6.5×１７×3.2	1
１０	Ｌレンチ　６mm	1

～取　り　付　け　要　領～

１．キット内容を確認します。

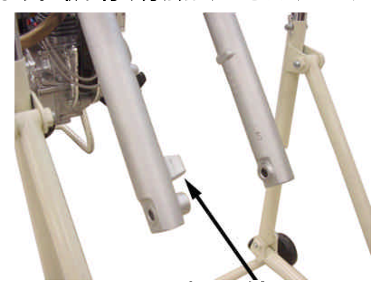
２．作業に適した工具を用意します。

３．リヤメンテナンススタンド、フロントメンテナンススタンドを使用して車体を確実に支えます。



４．ホンダ純正サービスマニュアル（以下サービスマニュアル）を参照し、車体からフロントホイール、フロントフォーク及び各ケーブル類を取り外します。

５．フロントフォークのＬ．とＲ．を入れ替えてステアリングステムに取り付けます。取り付け方法はサービスマニュアルを参照します。

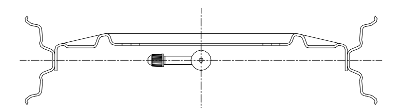


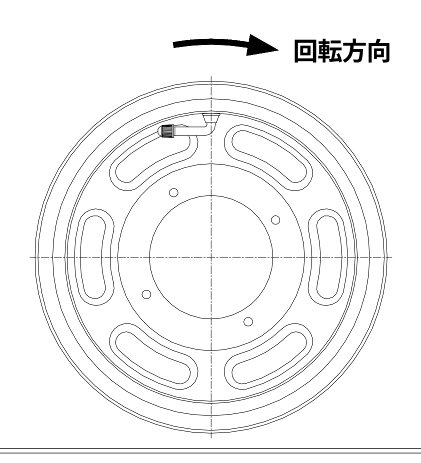
ストッパーの付いたフォークを右側に使用します。

６．フロントホイールハブ取り付け部の４本のナットを緩めてフロントホイールからＳＴＤのフロントホイールハブを取り外します。

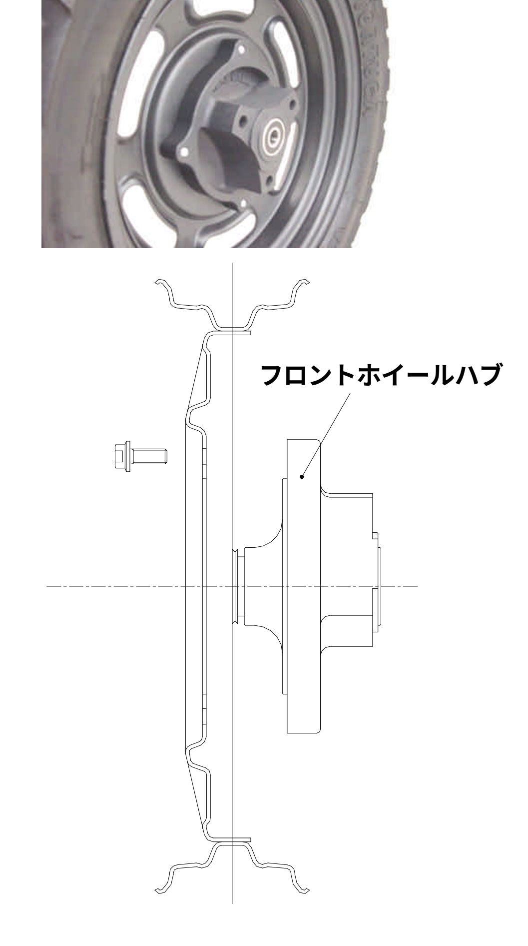
７．フロントホイールからタイヤを外し、エアバルブを図の様に取り付けます。そしてタイヤの回転方向を逆にして再度ホイールに組み付けます。

注意：エアバルブを指定の向きにしないと、フロントキャリパーと干渉する可能性が有り大変危険です。エアバルブが正しい向きになっている事を確認して下さい。
エアバルブの向きの変更がうまく出来ない場合は、ホイールからエアバルブを取り外し、新品のエアバルブを取り付けることをおすすめします。





８．フロントホイールに、①フロントホイールハブＣＯＭＰ．をＫＩＴ内⑦フランジソケットキャップスクリュー８×２０で取り付けて仮締めします。



９．別途用意したフロントブレーキディスクをフロントホイールハブにＫＩＴ内の③ディスクボルトを使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。

トルク：３９Ｎ・ｍ（４．０ｋｇｆ・ｍ）

１０．別途用意したスピードメーターギヤボックス外側の突起部を、Ｌ．側に使用するフロントフォークに取り付けた際に干渉しない程度まで削り取ります。

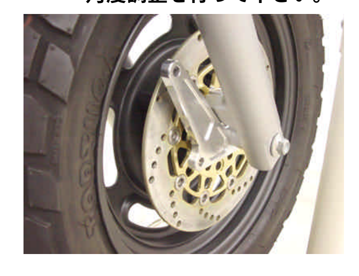


１１．フロントホイールハブＣＯＭＰ．のスピードメーターギヤボックスシールのリップ部にグリスを塗布した後、ハブの右側に②フロントキャリパーブラケットＣＯＭＰ．、左側に手順（１０）で加工したスピードメーターギヤボックスを取り付け、右側からアクスルシャフトを通してフロントフォークに取り付け、アクスルナットを指定トルクで締め付けます。

トルク：６２Ｎ・ｍ（６．３ｋｇｆ・ｍ）

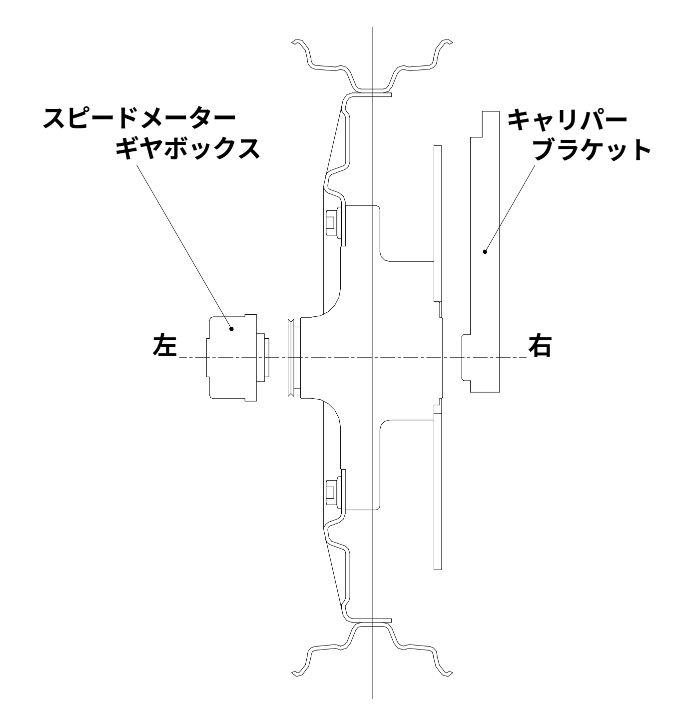
※スピードメーターギヤボックスの切り欠き部とシール部の爪の部分を合わせて下さい。

※アクスルナットの締め付け前にスピードメーターギヤボックスの角度調整を行って下さい。





フォークとケーブルの出口が平行になるようにします。



※アクスルシャフト、アクスルナットはＳＴＤを使用します。

１２．フロントキャリパーブラケットＣＯＭＰ．にキャリパーを⑥フランジソケットキャップスクリュー８×１６を使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。

トルク：３０Ｎ・ｍ（３．１ｋｇｆ・ｍ）



※キャリパー取り付け時、キャリパーとホイールが干渉しますので、ホイールと干渉しなくなるまでハブの取り付けボルトを緩めて下さい。

キャリパー取り付け後、ハブの取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：２９Ｎ・ｍ（３．０ｋｇｆ・ｍ）

１３．右側のフロントフォークにＫＩＴ内の④フロントケーブルガイドを⑤フランジボルト６×２５、⑧フランジＵナット６mmを使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。ブレーキホース取り付け時、ホースをこのガイドに通して下さい。



※当社製ダウンタイプフロントフェンダー（０９－０９－００４３、０９－０９－００４４）を使用する場合、フロントケーブルガイドがフェンダー側面に干渉する可能性が有ります。干渉する場合は、ＫＩＴ付属の⑨プレーンワッシャ６．５×１７×３．２をフォークとケーブルガイドの間に取り付けて、ケーブルガイドがフェンダーに干渉しない程度に曲げる等の作業を行って下さい。



１４．別途用意したスピードメーターケーブルＣＯＭＰ．を、同じく別途用意したオーバルスクリュー５×１６を使用してスピードメーターギヤボックスに取り付けます。そしてケーブルのもう一方をスピードメーターに取り付けます。

※ブレーキホース等、他の部品の装着に関しましては、それぞれの商品添付の取り扱い説明書を参照して組み付けて下さい。

～純正スロットルハウジングの取り付け～

１．下側スロットルハウジングには、突起があります。取り付ける場合は突起部分を削り取るか、ハンドルパイプに穴を開けて下さい。

２．スロットルを取り付けます。
グリップＣＯＭＰ．、スロットルケーブルＣＯＭＰ．はＳＴＤ．を使用します。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－0069
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp

Jun/11/ 02

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

○ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
○銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
○抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
○シーリングワッシャは再使用しない事。
○ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
○ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
○規定トルクは必ず守る事。
○ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

⚠ 警告

○ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し､ディスクローターは脱脂する事。
○損傷部品が見つかればその部品は必ず新品と交換する事。

○マスターシリンダーＡＳＳＹ.の２本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



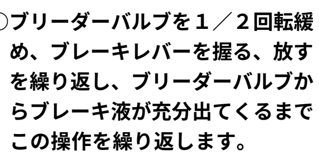
○キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



○マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。

⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル　ＤＯＴ４.



○ブリーダーバルブを１／２回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
☆オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。





○ブレーキレバーを握った状態にしたままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
○ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



①ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを１／２回転緩めた後、再び締め付けます。
②ブレーキレバーをゆっくり戻し､完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

○ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで①、②の操作を繰り返します。
☆時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

○エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝６Ｎ・ｍ（０.６ｋｇｆ・ｍ）



○オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。

⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル　ＤＯＴ４.

